

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1年次用）教科			国語	科目	現代の国語
教 科： 国語			科 目： 現代の国語		
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組			単位数： 2 単位		
教科担当者：（1組：石井）（2組：山崎）（3組：石井）（4組：山崎）（5組：石井）（6組：山崎）					
使用教科書：（現代の国語 大修館書店）					
教科 国語			の目標：		
【知識及び技能】			実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。		
【思考力、判断力、表現力等】			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。		
【学びに向かう力、人間性等】			我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。		
科目 現代の国語			の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学 期	「動」への変化（落合陽一） 【知識及び技能】 ・ 叙述を的確にとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の叙述をもとに要点を把握し、内容や形式について論述する。	【指導事項】 ・ 叙述を的確にとらえる。 ・ 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ アンケート等をTeamsを使って実施。		○	【知識・技能】 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。	○	○	○	8
	考える技術一考えさせない時代に抗して（野矢茂樹） 【知識及び技能】 ・ 言葉の意味内容を改めて考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握する。 定期考査	【指導事項】 ・ 言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かい姿勢を作る。 ・ 話し言葉の特徴をふまえて的確に話す。 ・ 情報が伝わるように説明の仕方を工夫する。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ ワークシート等をTeams内にて提示。	○	○	【知識・技能】 ・ 言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。		○	○	8
	伝わるように話す 【知識及び技能】 ・ 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整する。	【指導事項】 ・ 情報を収集・整理し、伝え合う内容を検討する。 ・ 情報が的確に伝わるように説明の仕方を工夫する。 ・ 相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身に付ける。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ ワークシート等をTeams内にて提示。		○	【知識・技能】 ・ 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。		○	○	6
	自然と人間の間をを通して考える（内山 節） 【知識及び技能】 ・ 主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整する。 定期考査	【指導事項】 ・ 主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・ 演繹・機能に着目して、文章の論理をとらえる。 ・ 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ ワークシート等をTeams内にて提示。		○	【知識・技能】 ・ 主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。		○	○	8
						○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（1年次用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：山崎）（2組：石井）（3組：山崎）（4組：石井）（5組：山崎）（6組：石井）

使用教科書：（探求 言語文化 桐原書店）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書・読					
単元：歴史的仮名遣い 【知識及び技能】 ・現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学びに関わろうとすることができるようにする。	【指導事項】 ・古文の特徴という観点から、現代語との言葉や文法、仮名遣いに違いがあることを指導する。 ・歴史的仮名遣いの読み方、書き方について指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」		○	【知識及・技能】 ・現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学びに関わろうとしている。	○	○	○	4
単元：単語の種類、品詞 【知識及び技能】 ・文を文節や単語に分けることができるようにする。 ・品詞の種類と役割について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・単語が体言であるか用言であるかを判断し、文節の働きを導くことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代語における自身の言葉の使いも鑑みながら学びに向かうことができるようにする。	【指導事項】 ・古文も現代語の文同様な文節や単語に分けることができることを指導する。 ・文節の役割から主語、述語、修飾語等に分類できることを指導する。 ・単語をその働きから品詞に分けられることと、品詞の分別の仕方を指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」		○	【知識及・技能】 ・現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学びにたろうとしている。	○	○	○	4
単元：兄のそら寝 【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文を正しく読むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の展開を想像しながら、重要な点や主題を意識、把握しながら読むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典文学に関心を寄せ、世界観を楽しみながら読めるような態度を養う。	【指導事項】 ・音読を行い、古文の独特のリズムや響きが認識できるように指導する。 ・動詞を探し出し、活用語尾について考える時間を設け。用言の識別の基礎を定着させる。 ・現代語訳をする際の基礎を指導する。 ・兄の心内語を探し出し、その動きを理解できるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」	○	○	【知識及・技能】 ・歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文を正しく読むことができてい。 【思考力・判断力・表現力等】 ・話の展開を想像しながら、重要な点や主題を意識、把握しながら読むことができてい。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典文学に関心を寄せ、世界観を楽しみながら読もうとしている。	○	○	○	4
単元：検非違使忠明のこと 【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文をリズムよく、正しく読むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の展開を把握し、時代背景を鑑みて主題について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書かれた時代の文化や習慣を考えをめぐらしながら古文を読み、楽しむ態度を養う。	【指導事項】 ・音読を行い、古文の独特のリズムや響きが認識できるように指導する。 ・動詞を探し出し、活用語尾について考える時間を設け。用言の識別の基礎を定着させる。 ・検非違使という役職や ・兄の心内語を探し出し、その動きを理解できるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・振り返りシートの提出など	○	○	【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文をリズムよく、正しく読むことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・話の展開を把握し、時代背景を鑑みて主題について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・書かれた時代の文化や習慣を考えをめぐらしながら古文を読み、リズムの良さを味わおうとしている。	○	○	○	4
定期考査					○	○		1

1 学 期	単元：大江山 【知識及び技能】 ・用言の理解を軸に現代語訳をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情や筆者の示す教訓などを読み取り、自分の考えを持ち表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典の歌は現代とは全く異なる意味合いをもつということに対し、想像力を膨らませ、積極的に受け入れられることができるようになる。	【指導事項】 ・円滑に文章を読むために歴史的仮名遣いの復讐、定着を図りながら音読を行い、古文の持つ独特のリズムや響きを意識できるように指導する。 ・現代語訳をさらに平易に解説し、生徒自身が想像力を働かせて本文を理解できるように指導する。 ・筆者の示す教訓からどのようなことを考える会見を持たせ、自分自身の生活に結びつけて考えられるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・発表ツールやペアワークのツールとして用いる。	○	○	○	【知識・技能】 ・用言の理解を軸に現代語訳をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 登場人物の心情や筆者の示す教訓などを読み取り、自分の考えを持ち表現することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典の歌は現代とは全く異なる意味合いをもつということに対し、想像力を膨らませ、積極的に受け入れられることができるようになる。	○	○	○	6	
	単元：用言の活用 【知識及び技能】 ・動詞、形容詞、形容動詞の働きを捉えつつ、活用を理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用を単語や文中からも判断することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活にも動詞、形容詞、形容動詞に分類される言葉が多様にあることを理解し、身の回りのことと関連付けて学びに向かうことができるようにする。	【指導事項】 ・十品詞の復習をしながら動詞、形容詞、形容動詞が用言であることの理解が定着するよう指導する。 ・動詞の活用9種類、および形容詞の活用2種類、活用形の見分け方について指導する。 ・形容動詞の見分け方と活用について指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。			○	○	【知識・技能】 ・動詞、形容詞、形容動詞の働きを捉えつつ、活用を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用を単語や文中からも判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活にも動詞、形容詞、形容動詞に分類される言葉が多様にあることを理解し、身の回りのことと関連付けて学びに向かうおうとしている。	○	○	○	4
	単元：鷹使ひの夢 【知識及び技能】 ・用言の品詞と活用の種類。活用形を理解することができる。 ・話の大筋を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作中の鳥の特徴をもとに、残された雌鳥の悲哀を感じ取ることができるようにする。 ・鷹使ひの行動の変容を心情の変化から読み取ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・夢の中の鳥の言動の動きを音読において積極的に反映させることができるようにする。	【指導事項】 ・文中にある用言について分類する時間を確保し、活用の種類や活用形についての理解の定着を図る。 ・実際の行動と夢の中の言動の区別ができるよう指導する。 ・雌鳥の悲哀を和歌によってどのように表現されているかが理解できるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。			○	○	【知識及び技能】 ・用言の・詞と活用の種類。活用形を理解している。 ・話の大筋を理解できている。 【思考力・判断力・表現力】 ・作中の鳥の特徴をもとに、残された雌鳥の悲哀を感じ取り、自分の言葉で表現できている。 ・鷹使ひの行動の変容を心情の変化から読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・夢の中の鳥の言動の動きを音読において積極的に反映させようとしている。	○	○	○	4
	単元：猿ヶ島（太宰治） 【知識及び技能】 ・文中の漢字や語句について正しく理解できるようにする。 ・登場する猿たちの立場や行動を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場する猿たちの心情を読み取り、その姿に込められた寓意やテーマについて考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の舞台となる時代や当時の日本と西洋諸国との関係性など作品の背景を積極的に知ろうとする。	【指導事項】 ・本文の大まかな内容を把握し、伏線について考察できるよう指導する。 ・「私」と「猿」の関係性について気づかせるよう指導する。 ・他の猿たちとの差異について理解できるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・伏線についての考察の共有や振り返りシートの提出など。	○	○	○		【知識・技能】 ・文中の漢字や語句について正しく理解できている。 ・登場する猿たちの立場や行動を的確に捉えている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・登場する猿たちの心情を読み取り、その姿に込められた寓意やテーマについて考えられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の舞台となる時代や当時の日本と西洋諸国との関係性など作品の背景をもとに積極的に解釈しようとしている。	○	○	○	6
	定期査査							○	○		1

2 学 期	単元：助動詞	【知識及び技能】 ・助動詞の性質や働きを正しく理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・助動詞の種類を文中において判断し、意味を判別できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・助動詞は現代語でも多用されている品詞であることに気づき、古文においても学ぼうとすることができるようにする。	【指導事項】 ・現代語の助動詞にも触れて、身近な品詞であると考えられるように指導する。 ・助動詞には使用する際のルールがあることに触れ、接続する活用形が決まっていることを指導する。 ・用言の活用形を確認し、接続によって意味の識別ができることを指導する。 ・すべての助動詞についてではなく、段階的に提示、指導することにより覚え違いや混乱を避ける。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。				○	【知識・技能】 ・助動詞の性質や働きを正しく理解できている。 【思考力・判断力・表現力】 ・助動詞の種類を文中において判断し、意味を判別することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・助動詞は現代語でも多用されている品詞であることに気づき、古文においても積極的に学ぼうとしている。	○	○	○	8
	単元：奥山に猫またといふもの	【知識及び技能】 ・助動詞の働きを正しく理解し、現代語訳に生かせるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・猫またの正体がもたらすユーモアを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・当時の僧侶のイメージと現代のイメージとを比較検討し、話の意図を積極的に理解しようとするようにする。	【指導事項】 ・文中にある用言について分類する時間を確保し、活用の種類や活用形についての理解の定着を図る。 ・僧侶の様子を示す表現から怯える様子が理解できるよう指導する。 ・話のオチをユーモアについて自分の言葉で語れるようヒントを提示しながら表現方法を指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。	○		○		【知識・技能】 ・助動詞の働きを正しく理解し、現代語訳に生かしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・猫またの正体がもたらすユーモアを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・当時の僧侶のイメージと現代のイメージとを比較検討し、話の意図を積極的に理解しようとしている。	○	○	○	8
	単元：伊勢物語（芥川）	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方をふまえて内容を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えられるようにする。	【指導事項】 ・話の中で和歌が果たしている役割を説明し、歌物語の特徴と読み解き方を指導する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを示し、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・絵画資料と比較し、解釈を深められるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。	○		○		【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解している。 【思考力・判断力、表現力】 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、この時代のものの見方や考え方をふまえて内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	単元：土佐日記（かしらの雪）	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解し、内容を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりする。	【指導事項】 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図について指導する。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 ・作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉えられるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。	○		○	○	【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できている。 【思考力・判断力・表現力】 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解し、内容を解釈できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。	○	○	○	6
	単元：伊勢物語（筒井筒）	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方をふまえて内容を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えられるようにする。	【指導事項】 ・話の中で和歌が果たしている役割を説明し、歌物語の特徴と読み解き方を指導する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを示し、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・『大和』【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深められるよう指導する。	○		○		【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、この時代のものの見方や考え方をふまえて内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	8
	単元：羅生門（芥川龍之介）	【知識及び技能】 ・主張と論拠など、情報の扱い方に	【指導事項】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人					【知識・技能】 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。				

3 学 期	について理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して自分の考えを書こうとする。	の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述できるよう指導する。 ・意味を理解できる語句を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩などの修辞について指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを 【主体的に学習に取り組む態度】 ・内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	単元：敬語表現 【知識及び技能】 ・現代語と古語の敬語表現の共通点を理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・敬語の種類と敬意の方向について判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古語の学習を通して現在の自分の言葉の使い方を振り返ろうとする。	【指導事項】 ・敬語表現の役割について指導する。 ・尊敬語、謙譲語、丁寧語の別についてや、補助動詞、二重敬語について指導する。 ・現代語における正しい敬語表現について指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。	○	○	○	【知識・技能】 ・尊敬語、謙譲語、丁寧語の別と本動詞と補助動詞について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・敬意の方向を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代語において正しい敬語表現を用いて話そうとしている。	○	○	○	6
	単元：竹取物語 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解し内容を解釈できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとする。	【指導事項】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを指導する。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・意味を理解できる語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○		【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。				6
	単元：朝三暮四 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとする用指導する。	【指導事項】 ・漢文の訓読方法を指導する。 ・現在使われている言葉が漢文に由来することを例を提示しながら指導する。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 ・作品の歴史的・文化的背景について指導する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて気が付くよう指導する。 【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・啓隆社「高校生の古典文法 七訂版」 【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。	○	○		【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

合計
105

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科		地歴公民	科目	地理総合
教 科：	地歴公民	科 目：	地理総合	
対象学年組：	第 1 学年 1 組～ 6 組	単位数：	2	単位
教科担当者：	（1組：及川 （2組：及川 （3組：及川 （4組：及川 （5組：及川 （6組：及川 ）			
使用教科書：	（ 高等学校新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）			
教科	地歴公民	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、調べまとめる。				
【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想し、考察・構想したことを説明し議論する。				
【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとし、日本国民としての自覚、国土や歴史に対する愛情をもつ。				
科目	地理総合	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、地球的課題への取組などを理解し、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを説明し、議論する力を養う。	課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	地図と地図情報システム ・ 地図と地図情報システムを知る ・ 地図と地図情報システムで討論・発表する ・ 地図と地図情報システムを活用する態度を養う	・ 地図や地図情報システムの役割や有用性 ・ 地球儀や地図、GIS ・ GISを使って地理情報システムを活用する	・ 地図と地図情報システムを理解している ・ 地図と地図情報システムを考察し、表現している ・ 地図と地図情報システムの課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	結びつきを深める現代世界 ・ 国内や国家間の結びつきを知る ・ 国家や国家間の結びつきで討論・発表する ・ 国家や国家間の結びつきの課題を解決する態度を養う	・ 国家や国家間の結びつきの実情 ・ グローバル地図 ・ Teamsを活用した発表・討論	・ 現代世界の結びつきを理解している ・ 現代世界の結びつきを考察し、表現している ・ 現代世界の結びつきの課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	世界の地形・気候と人々の生活 ・ 世界の地形・気候と人々の生活を知る ・ 世界の地形・気候と人々の生活で討論・発表する ・ 世界の地形・気候と人々の生活の課題を解決する態度を養う	・ 世界の地形・気候と人々の生活の実情 ・ 地形や気候のGIS ・ Teamsを活用した発表・討論	・ 世界の地形・気候と人々の生活を理解している ・ 世界の地形・気候と人々の生活を考察し、表現している ・ 世界の地形・気候と人々の生活の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	世界の言語・宗教と人々の生活 ・ 世界の言語・宗教と人々の生活を知る ・ 世界の言語・宗教と人々の生活で討論・発表する ・ 世界の言語・宗教と人々の生活の課題を解決する態度を養う	・ 世界の言語・宗教と人々の生活の実情 ・ 地形や気候のGIS ・ Teamsを活用した発表・討論	・ 世界の言語・宗教を理解している ・ 世界の言語・宗教を考察し、表現している ・ 世界の言語・宗教の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	歴史的背景と人々の生活 ・ 歴史的背景と人々の生活を知る ・ 歴史的背景と人々の生活で討論・発表する ・ 歴史的背景と人々の生活の課題を解決する態度を養う	・ 歴史的背景と人々の生活の実情 ・ 歴史地図とGIS ・ Teamsを活用した発表・討論	・ 歴史的背景と人々の生活を理解している ・ 歴史的背景と人々の生活を考察し、表現している ・ 歴史的背景と人々の生活の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	地球的課題と国際協力 ・ 地球的課題と国際協力を知る ・ 地球的課題と国際協力で討論・発表する ・ 地球的課題と国際協力の課題を解決する態度を養う	・ 地球的課題と国際協力の実情 ・ グローバルな国際的解決法のGIS ・ 地図 ・ Teamsを活用した発表・討論	・ 地球的課題と国際協力を理解している ・ 地球的課題と国際協力を考察し、表現している ・ 地球的課題と国際協力の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
3 学 期	自然環境と防災 ・ 自然環境と防災を知る ・ 自然環境と防災で討論・発表する ・ 自然環境と防災の課題を解決する態度を養う	・ 自然環境と防災の実情 ・ 自然環境のGIS ・ Teamsを活用した発表・討論	・ 自然環境と防災を理解している ・ 自然環境と防災を考察し、表現している ・ 自然環境と防災を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	生活圏の調査と地域の展望 ・ 生活圏の調査と地域の展望を知る ・ 生活圏の調査と地域の展望で討論・発表する ・ 生活圏の調査と地域の展望の課題を解決する態度を養う	・ 生活圏の調査と地域の展望の実情 ・ 身近な地域のGIS ・ Teamsを活用した発表・討論	・ 生活圏の調査と地域の展望を理解している ・ 生活圏の調査と地域の展望を考察し、表現している ・ 生活圏の調査と地域の展望の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
	合計						70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：藤野）（2組：斎藤）（3組：藤野）（4組：斎藤）（5組：藤野）（6組：平澤）

使用教科書：（明解 歴史総合）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとし、日本国民としての自覚、国土や歴史に対する愛情をもつ。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
グローバル化や情報化、少子高齢化など急激に変化する現代社会に至る歴史的過程を理解する。	歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察する力を身に付ける。	主体的に社会の形成に参画する態度が身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	江戸時代の日本と結び付く世界へ	18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付くようになっていったのだろうか。	【知識・技能】 18世紀以前のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、その後の日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	11
	欧米諸国における近代化	欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	8
	近代化の進展と国民国家形成	近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	アジア諸国の動揺と日本の開国	近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	10
	近代化が進む日本と東アジア	日本や東アジア諸国は、近代化を通	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	第一次世界大戦と日本の対応	第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	10
	国際協調と大衆社会の広がり	大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。	【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画 新様式例

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

数学

科目 数学Ⅰ

教科 数学

科目 数学Ⅰ

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1～6組 α ：竹市）（1～6組 β ：町田）（1～6組 γ ：菊田）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（数研出版 高等学校数学Ⅰ ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数と式、図形と計量、2次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1章 数と式 式についての用語の意味を理解する。また、特定の文字や式の次数への着目を通して、式について多様な見方をすることができる。 連立不等式を解いたり、1次不等式を日常の事象の問題解決に活用したりすることができる。 また、絶対値記号を含む基本的な方程式・不等式を解くことができる。	1 整式 2 整式の加法と減法、乗法 3 因数分解 4 実数 5 根号を含む式の計算 6 1次不等式 7 1次不等式の利用	【知識・技能】 ・式についての用語の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・式の一部を1つの文字のように見なしたり、1つの文字について整理したりするなど、見通しをもって複雑な式を因数分解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中学校で学んだ等式の性質と関連付けながら、不等式の性質を考えようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	2章 集合と論証 命題や条件に関する基本的な概念を理解する。また、命題の真偽や条件どうしの関係を、条件が満たすものの全体の集合の包含関係と関連付けて考えることができる。 命題の逆・裏・対偶を理解し、対偶を利用した証明法や背理法を用いて簡単な証明をすることができる。	1 命題と条件 2 命題と証明	【知識・技能】 ・命題や条件に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・対偶を利用した証明法や背理法を用いて簡単な証明をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・命題の真偽や条件どうしの関係を、条件が満たすものの全体の集合の包含関係と関連付けて考えようとしている。	○	○		8
	3章 2次関数 関数についての基本的な概念を理解する。また、定義域が制限された1次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 学校で学んだ $y=ax^2$ のグラフをもとに、一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフを書く方法を考察することができる。	1 関数とグラフ 2 $y=ax^2$ のグラフ 3 2次関数のグラフ	【知識・技能】 ・関数についての基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・2つの放物線の位置関係について頂点に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $y=ax^2$ のグラフをもとに、2次関数 $y=ax^2+q$ 、 $y=a(x-p)^2$ 、 $y=a(x-p)^2+q$ 、 $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかく方法を考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	3章 2次関数 定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。また、日常の事象の問題解決に2次関数を活用することができる。 2次不等式を含む連立不等式を解くことができる。また、2次不等式を日常の事象の問題解決に活用することができる。	4 2次関数の最大と最小 5 2次関数の決定 6 2次方程式 7 グラフと2次方程式 8 グラフと2次不等式	【知識・技能】 ・定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの数量の関係に着目して自ら変数を設定し、2次関数を利用して具体的な問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・鋭角の三角比の意味を三角形の構成要素間の関係に関連付けて理解している。	○	○	○	30
	4章 図形と計量 鋭角の三角比の意味を三角形の構成要素間の関係に関連付けて理解し、様々な場面に応用することができる。 三角比の相互関係や90°-Aの三角比について理解する。	1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張	【知識・技能】 ・定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、三角比を利用して日常に関する問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとしている。	○	○	○	16
3 学期	4章 図形と計量 三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係を考え、正弦定理を導くことができる。また、三角形の決定条件と関連付けて正弦定理を理解し、利用することができる。 三角形の面積を、三角比を用いて表す方法を理解する。また、円に内接する四角形の面積を求めることができる。	4 正弦定理・余弦定理 5 正弦定理と余弦定理の応用 6 三角形の面積 7 空間図形への応用	【知識・技能】 ・正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の辺と角の間に成り立つ関係として、余弦定理を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三平方の定理と関連付けながら、余弦定理を理解しようとしている。	○	○	○	12
	5章 データの分析 ヒストグラムや箱ひげ図といったデータを整理する方法について理解し、それらからデータの傾向を把握することができる。 2つの変量の組からなるデータについて、散布図および相関係数を用いて相関関係を捉えることができる。また、外れ値を知り、外れ値の統計量への影響について理解する。	1 データの分布とグラフ 2 分散と標準偏差 3 分散、標準偏差の性質 4 散布図と相関係数 5 データの分析を利用した問題の解決	【知識・技能】 ・データをヒストグラムや箱ひげ図などに整理し、データの傾向を把握することができる。 【思考・判断・表現】 ・変量を変換した際に平均値、分散、標準偏差がどのように変化するかを考察し、それらの性質を利用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の事象を数学的に捉え、統計的手法を用いて問題解決を図ろうとしている。	○	○	○	9
							合計
							105

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

科 目： 数学 A

科目

单位数： 2 单位

~ 6 組

(2組：竹市)

(3組：町田)

(4組：松原)

(5組：松原)

(6組：町田)

学校数学A

の目標：

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数値化したり、数式化に解釈したり、数式的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。 ・不確実な事象に着目し、確率の性質などに基いて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く考える数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 場合の数と確率 集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解し、日常の事象の問題解決に活用することができる。 樹形図を用いた数え上げや、和の法則、積の法則という数え上げの原則を理解し、場合の数を求めることができる。	1 集合とその表し方 2 部分集合 3 和集合・補集合 1 集合の要素の個数 2 場合の数	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・整数の約数の個数を求める方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象に集合の要素の個数を活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	1章 場合の数と確率 順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。また、状況に応じて、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 組合せの意味を理解し、その総数を求めることができる。また、状況に応じて、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。	3 順列 4 円順列・重複順列 5 組合せ 6 事象と確率	【知識・技能】 ・順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・最短経路について、同じものを含む順列の考え方をもとに、その総数を求める方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・部屋分けの総数について学んだことを振り返り、発展的に考察を深めようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学 期	1章 場合の数と確率 確率の基本性質について集合と関連付けながら理解し、性質を利用して確率を求めることができる。 反復試行の意味を理解し、反復試行の確率を求めることができる。また、状況に応じて、確率を求める方法を多面的に考察することができる。	7 確率の基本性質 8 独立な試行の確率 9 反復試行の確率 10 条件付き確率 11 期待値	【知識・技能】 ・確率の基本性質について集合と関連付けながら理解し、その性質を利用して確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・3つの独立な試行におけるある事象について、適切に場合分けして、その確率を求める方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・条件付き確率について学んだことを、日常の事象の問題解決に生かそうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	2章 図形の性質 内分や外分について理解する。また、三角形の重心の定理について理解する。三角形の外心の定理、三角形の垂心の定理について理解する。また、三角形の重心・外心・垂心の関係について、論理的に考察し説明することができる。	1 三角形の辺の比 2 三角形の外心、内心、重心	【知識・技能】 ・三角形と比の定理、中点連結定理、内分や外分について理解している。 【思考・判断・表現】 ・三角形の重心・外心・垂心の関係に着目し、いずれか2つが一致する三角形は正三角形であることを証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の重心・外心・垂心の関係に着目し、図形の性質を考えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	2章 図形の性質 同一円周上にある点を結んでできる角についての様々な定理を理解し、利用することができる。また、これらの定理の関係について、統合的に考察することができる。 2つの円の位置関係とそれらの共通接線について理解する。	3 チェバ、メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 方べきの定理 7 2つの円 8 直線と平面 9 正四面体	【知識・技能】 ・同一円周上にある点を結んでできる角についての様々な定理を理解している。 【思考・判断・表現】 ・方べきの定理の逆を利用して、図形の性質を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間における図形の位置関係を、平面上の図形の位置関係と関連付けて考えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用）教科

理科

科目

化学基礎

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：小坂 ） （2組：小坂 ） （3組：小坂 ） （4組：小坂 ） （5組：小坂 ） （6組：小坂 ）

使用教科書：（東京書籍「高等学校 化学基礎」）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを通して、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	習得した「知識・技能」を活用して、探究方法を習得させるとともに、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 第1章 物質の構成 【知識及び技能】化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物等を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学と物質について問題を見だし、見通しを持って科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質の分離・精製、単体と化合物等に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集。授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】物質の分離・精製、単体と化合物等について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質の分離・精製、単体と化合物等について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質の分離・精製、単体と化合物等に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第1部 第2章 物質の構成粒子 【知識及び技能】物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表等を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】原子の構造、電子配置と周期表等における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】原子の構造、電子配置と周期表等に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集。授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】原子の構造、電子配置と周期表等の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】原子の構造、電子配置と周期表等について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】原子の構造、電子配置と周期表等に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	第1部 第3章 化学結合 【知識及び技能】物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学結合について問題を見だし、見通しを持って科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集。授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第2部 第1章 物質質量と化学反応式 【知識及び技能】物質質量と化学反応式について、物質質量や化学反応式等を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質質量と化学反応式について探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質質量と化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集。授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】物質質量と化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質質量と化学反応式について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質質量と化学反応式に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	第2部 第2章 酸と塩基 【知識及び技能】化学反応を通して、酸・塩基の性質や中和反応における量的関係を理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応について探究し、酸・塩基や中和における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応について、酸・塩基に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集。授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】化学反応を通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基や中和について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基や中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第2部 第3章 酸化還元反応 【知識及び技能】化学反応を通して、酸化と還元が電子の授受によることを理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応について探究し、酸化と還元における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応について、酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPoint等を使用。演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】教材は主に教科書・問題集。授業プリントに記入し、問題集はノート等に書き提出。提出物は、穴埋め以外のメモ等も評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teamsに「復習用資料」を置き、活用できるようにする。 ②授業中に Teams や Classi を用いて、各自意見を記入・発表し、様々な意見を共有する。また、授業中のWebテストを実施する。	【知識・技能】化学反応を通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸化と還元について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科
保健体育
科目 体育
教 科： 保健体育 科 目： 体育
単位数： 3 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1～6 組：加藤） （1～6 組：勝部） （1～6 組：長岡） （1～6 組：大塚） （1～6 組：熊倉） （1～6 組：中山）
使用教科書：（
教科 保健体育 の目標：
【知 識 及 び 技 能】個々の運動能力や特性を把握した上で、各種目の技術力を向上させる
【思考力、判断力、表現力等】協働して実技を行い、ルールを把握し守る態度を身に付けさせる
【学びに向かう力、人間性等】自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けさせる
科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の運動実践を通して、基礎的技術の習得や基礎体力の向上を図り、心身の頑健な発達を促す	公正・協力・責任等の態度を養う	生涯を通じて自ら継続的に運動ができる能力と態度を学ぶ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション 体育理論 スポーツテスト	プリントを説明し、理解を深める。 多くの種目のルール把握する。 授業の心得・決まりの周知徹底させ、自らの課題として捉える。	観察、積極性	○	○	○	7
	バドミントン バスケットボール 柔道 陸上 ダンス 体育祭練習	用具の安全な取り扱いを徹底し、事故防止を徹底する。 ラケットの基本動作を身に付ける。 柔道の基本 受身を習得する。 クラスの連帯感を深めると共に、体育祭の円滑且つ安全な運営につなげる。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	18
	定期考査						
	バドミントン バスケットボール 柔道 陸上 ダンス 水泳	用具の安全な取り扱いを徹底し、事故防止を徹底する。 基本的なボール操作を身に付ける。 柔道の基本 受身を習得する。 グループやチームで活動する。 近代4 種目の内、クロール・平泳ぎを習得する。長く又は速く泳ぐ技能を身に付ける。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	21
	定期考査						
2 学 期	バレーボール 水泳 柔道 陸上 ダンス ソフトボール	基本的なボール操作と空いたスペースやネット際の攻防を身に付ける。 柔道の礼法・受け身を中心とした基本動作を身につけ、投げ技・固め技の反復練習を行い習得する。 キャッチボールなどの 基本練習と簡易ゲーム実施し、技能の向上を図る。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	41
3 学 期	持久走 バスケットボール	3～5キロの持久走を実施する。 連続した攻守の入れ替えの中で空間への侵入や連携した動きを身に付ける。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	18
							合計
							105

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科
保健体育
科目 保健
教 科： 保健体育 科 目： 保健
単位数： 1 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1 組：長岡） （2 組：大塚） （3 組：中山） （4 組：長岡） （5 組：大塚） （6 組：中山）
使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）
教科 保健体育 の目標：
【知 識 及 び 技 能】個々の運動能力や特性を把握した上で、各種目の技術力を向上させる
【思考力、判断力、表現力等】協働して実技を行い、ルールを把握し守る態度を身に付けさせる
【学びに向かう力、人間性等】自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けさせる

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人および社会生活における健康・安全について理解を深める	学んだことを活かし自らの健康を適切に管理できる資質や能力を育てる。	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	体のつくりと働き 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防	健康について考え、現在の我が国の健康問題について考える。また、生活習慣病について理解を深める。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	5
	5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	適度な運動が健康を作ることを理解する がんの原因と予防について理解する。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	9 喫煙と健康 1 0 飲酒と健康 1 1 薬物乱用と健康 1 2 精神疾患の特徴 1 3 精神疾患の予防 1 4 精神疾患からの回復 1 5 現代の感染症 1 6 感染症の予防 1 7 性感染症・エイズとその予防	意志決定と行動選択は様々な要因の影響を受けることを理解する。感染症について理解を深める。 心と体の相関について考える。交通事故の現状と予防のについて考える。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	1 8 健康に関する意思決定・行動選択 1 9 健康に関する環境づくり	応急処置の手順について理解を深め、実際に行えるようにする。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 35

高等学校 令和6年度（1 学年用）教科		芸術	科目	音楽Ⅰ（選択必修）
教科：芸術	科目：音楽Ⅰ（選択必修）	単位数：	2	単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組 音楽選択者				
教科担当者：（橋場 友彦）				
使用教科書：（ 高校生の音楽Ⅰ 教育芸術社 ）				
教科 芸術 の目標：				

科目 音楽Ⅰ（選択必修） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作などで表現することを目標とする。	音楽をどのように表すかについて表現意図を持ち、評価しながら良さや美しさを味わって聞くことができる。	音や音楽、音楽文化と豊かに関り主体的・対話的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことを目標とする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等								
	・表現豊かに歌う ・音楽用語などの基礎知識	・校歌 ・今までに習った歌 ・腹式呼吸法の習得 ・端末の利用	○		○ ○	・校歌の歌詞を覚え表現豊かに歌えているか ・大地讃頌や時の旅人などの既習曲を表現豊かに歌えているか ・スムーズに端末で調べ学習ができたか	○	○	○	8
	・ギター演奏の基礎 ・コードネームなどの基礎知識	・カントリーロード ・G, D7, Cなどのコードを覚える ・ダウンストロークの習得 ・端末の利用			○ ○ ○	・コードを覚え演奏することができたか ・ギターの基礎知識を習得できたか ・スムーズに端末で調べ学習ができたか	○	○	○	8
	・実技テスト	・校歌、カントリーロードの実技テスト	○	○	○ ○	・腹式呼吸で歌えているか ・スムーズにコード進行をして演奏できているか	○	○	○	4
2 学 期	・響き豊かに歌う 楽譜などの基礎知識 ・実技テスト	・君を愛す ・ドイツ語の歌い方 ・端末の利用	○		○ ○	・響き豊かにドイツ語の歌を歌えたか ・端末で調べ学習ができたか	○	○	○	20
	・ギター演奏の応用 ・コードの応用知識 実技テスト	・アヴェマリア ・ギターの様々な演奏法 ・端末の利用			○ ○ ○	・ギターの演奏法を工夫し演奏できたか ・端末で調べ学習ができたか	○	○	○	20
3 学 期	・弾き語りの習得	・風に吹かれて ・ギターのアルペジオ奏法の習得 ・英語の歌い方 ・端末の利用	○	○	○ ○	・英語の歌を表現豊かに歌えたか ・アルペジオ奏法を習得できたか ・スムーズに端末で調べ学習ができたか	○	○	○	8
	・実技テスト	・風に吹かれて 弾き語りテスト	○	○	○ ○	・滑らかに表現豊かに弾き語ることができたか	○	○	○	2
			○	○	○ ○		○	○	○	合計 70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ（選択必修修）

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ（選択必修修） 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者： 儀部 佳織・志田 霞
使用教科書：（ 高校の美術 1 ）

教科	芸術	の目標：	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知 識 及 び 技 能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。		
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
科目 美術Ⅰ（選択必修修）	の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ねる。		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション 色の課題	絵具の基本的・適切な使い方を身に付ける。色の基本についての再確認。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 取り組みはプリントにまとめさる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
	・自分の好きな漫画の1ページを模写する。 ・教科書の作品発表（鑑賞）	絵を不得意とする生徒であっても、1つ1つの工程を丁寧に行うことで、制度の高い作品ができることを体感する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
	定期考査						
	・凄ロク ・教科書の作品発表（鑑賞）	実際にスゴロクで遊ぶことにより、アイデアを膨らませる。また、グループでの話し合いにより、制作の方向性を決めていく。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	8
	・凄ロク ・教科書の作品発表（鑑賞）	チームワークを大切に、試行錯誤しながら作品を作り上げる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	6
	定期考査						
2 学 期	・自分の好きな漫画の1ページを模写する ・教科書の作品発表（鑑賞）	絵を不得意とする生徒であっても、1つ1つの工程を丁寧に行うことで、制度の高い作品ができることを体感する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はパワーポイントにまとめさる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	12
	後期 オリエンテーション 心を灯すあかり（ランプシェード）	・色の仕組み・構成 色相環を作る ・透視図法 一点透視、二点透視、4点透視図法を使い街並みを描く。 ・レタリング 永字六法からさまざまな文字を文書体で表現する。 ・切り絵 ・染色 マーブルリング、折り染 ・陶芸粘土で土台作り	【知識・技能】 自分の思いを、あかりの効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作する。 【思考・判断・表現】 自分の思いを、あかりの効果を考えて、文字、染色、切り絵により工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、あかりの効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作し友達の良いワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はワークシートにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	10

3 学 期	マイデザイン ステンシルバックをつくるう	・色の仕組み・構成 色相環を作る ・透視図法 一点透視、2点透視、3点透視図法を使い街並みを描く。 ・レタリング 永字六法からさまざまな文字を文書体で表現する。 ・切り絵からステンシル版画	【知識・技能】 自分の思いを、身近な持ち物による効果を意識して文字、染色、切り絵により工夫して制作する。 【思考・判断・表現】 自分の思いを、文字、染色、切り絵により工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、染色、切り絵により工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はワークシートにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	6
	陶芸・木彫レリーフ	花鳥風月をテーマに、彫刻刀を使って自然物や風景を木彫りする。	【知識・技能】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに粘土や木材で彫刻刀等で工夫して制作する。 【思考・判断・表現】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに粘土や木材で彫刻刀等で工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の思いを、花鳥委風月をテーマに工夫して制作し友達の良さをワークシートを使って観察、作品から評価する。また、発表の様子も評価の対象となる。 発表内容はワークシートにまとめさせる。 出席状況・授業中の基本的な受講態度が、主体的に学習に取り組む態度となる。	○	○	○	12 合計 70

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：入山 ）（2組：入山 ）（3組：入山 ）（4組：入山 ）（5組：入山 ）（6組：入山 ）

使用教科書：（ 光村図書 書Ⅰ ）

教科 芸術 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や所の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美感を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 書写から書道へ 【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈					【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができている。 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができている。				6
	B 文字の造形を学ぶ【楷書】 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛橛造像記 ・鄭義下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品					【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。				20
	C 古典を生かした創作 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書					【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。				12

[illegible]

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

[illegible]

【知識及び技能】 言語活動を通じて日常的社会的な話題について基本的で適切な語句を用いて表現するための文法力・構成力を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 言語活動を通じて日常的社会的な話題について情報を整理しながら考えや意見などを形成し、論理の構成や展開を工夫して適切に伝えたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 言語活動を通じて日常的社会的な話題に関して表現した内容について質疑応答をしたり感想や意見を伝え合うことができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的社会的な話題について基本的で適切な語句を用いて表現するための文法力・構成力を身に付けることができる。	実際に英語を用いた言語活動を通じて日常的社会的な話題について情報を整理しながら考えや意見などを形成し、論理の構成や展開を工夫して適切に伝えたりすることができる。	実際に英語を用いた言語活動を通じて日常的社会的な話題に関して表現した内容について質疑応答をしたり感想や意見をベアやグループで伝え合うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕					
1 学 期	Lesson1 【知識及び技能】 文の種類 【思考力、判断力、表現力等】 応答・理由を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 クラブ活動や趣味をベアに紹介することができる。	・ Who plays the hero? ・ Oh, really? ・ I want to introduce my new friend. ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	5
	Lesson2 【知識及び技能】 文型と動詞 【思考力、判断力、表現力等】 賛成・反対を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭についてベアと話すことができる。	・ Kate lives in New York. ・ I see your point, but… ・ Do you want to join our show? ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	5
	定期考査							○	○		1
	Lesson3 【知識及び技能】 時制 【思考力、判断力、表現力等】 激励・計画を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 旅行の経験についてクラスに話すことができる。	・ I love you. ・ You can do it! ・ I'm planning a day trip this weekend. ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	4
	Lesson4 【知識及び技能】 完了形 【思考力、判断力、表現力等】 経験を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツや音楽の経験をベアで伝え合うことができる。	・ I have just heard the news. ・ How many times have you been abroad? ・ Have you ever tried it before? ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	4
	Lesson5 【知識及び技能】 助動詞 【思考力、判断力、表現力等】 許可・義務を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 将来の夢をグループで伝え合うことができる。	・ She can play the piano. ・ Do you mind if I take a picture? ・ What do you want to do after high school? ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	Lesson6 【知識及び技能】 受動態 【思考力、判断力、表現力等】 原因・喜びを述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 買物について質問したり、答えたりすることができる。	・ She is loved by the kids. ・ The delay was caused by heavy traffic. ・ Did you hear about the new shop? ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	4
	Lesson7 【知識及び技能】 不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 感謝・謝罪を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 贈り物の詳細をグループで話すことができる。	・ It's important to get enough sleep. ・ Than you for your help. ・ I'm happy to have you with us. ・ 教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・ 一人1 台端末の活用	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1

2 学 期	Lesson8 【知識及び技能】 動名詞 【思考力、判断力、表現力等】 誘い・推薦を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツをすることの利点についてクラスで発表することができる。	・ Playing baseball is fun. ・ Let's play football together. ・ What sport do you like playing? ・教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	4
	Lesson9 【知識及び技能】 分詞 【思考力、判断力、表現力等】 判断の根拠を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身や性格についてグループで発表することができる。	・ We sat up all night, talking on the phone. ・ According to …, Digital media has come a long way. ・教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	6
	Lesson10 【知識及び技能】 関係詞 【思考力、判断力、表現力等】 定義・経緯を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 日本の文化や日本人たちについてクラスで発表することができる。	・ I met a woman who spoke French well. ・ It means …. That's why I decided to go back. ・教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
3 学 期	Lesson11 【知識及び技能】 比較 【思考力、判断力、表現力等】 提案・称賛を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 国際問題について自分の考えを示すことができる。	・ She plays tennis as well as her sister. ・ Why don't we hang out with him? ・ Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? ・教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入	○	○	○	7
	Lesson12 【知識及び技能】 仮定法 【思考力、判断力、表現力等】 助言・願望を述べる表現等 【学びに向かう力、人間性等】 日本の社会問題についてクラスに自分の意見を述べる。	・ If I were free, I could go with you. ・ Can you give me some advice? ・ I think it's a good idea. ・教科書、ワークブック、ワークシート、辞書 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	観察、ワークブック提出、ワークシート記入、パフォーマンステスト	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用）教科

科目

单位数： 2 单位

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら改善しようとする。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	1 情報社会と情報 2 情報の特性 3 情報のモラルと個人に及ぼす影響	仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み	【知識・技能】 実例を挙げて説明できる 【思考・判断・表現】 説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に役立てる方法を立案できる		○	○	○	5
	1 アルゴリズムとその表記 2 プログラミング言語							
	1 知的財産 2 情報の利用と公開 3 個人情報の保護と管理 1 プログラミングの方法 2 関数を使用したプログラム 3 探索と整列のプログラム 3 モデル化の手順	仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み	【知識・技能】 表現を分かりやすくするための工夫 【思考・判断・表現】 文化の発展に与えている影響を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 著作物を全体的に利用しようとしている	○	○	○	8	
	定期考査	考査問題	観点別問題の得点	○	○		1	
	1 社会の中の情報システム 2 情報技術と課題解決	仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み	【知識・技能】 メディアの特性を説明できる 【思考・判断・表現】 情報の真意を読み解くことが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアから収集する情報を批判的に思考し、主体的に読み解こうとする態度を身に付けている	○	○	○	8	
	1 メディアの発達 2 メディアの特性 3 コミュニケーションの形態 4 インターネットのコミュニケーション							
	1 社会の中の情報デザイン 2 情報デザインの工夫 1 文書の作成 2 プレゼンテーション 3 Webページ 4 モデル化の手法 5 モデル化をする時の注意	仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み	【知識・技能】 表現を分かりやすくするための工夫 【思考・判断・表現】 デザインの工夫の提案 【主体的に学習に取り組む態度】 評価を受けて改善しようとしている	○	○	○	7	
	定期考査	考査問題	観点別問題の得点	○	○	○	1	
	2 学 期	1 コンピュータの構成と動作 2 ソフトウェアとインタフェース 1 アナログとデジタル 2 2進数と情報量 3 演算の仕組み 4 数値と文字の表現 5 数値の計算	仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み 定期考査	【知識・技能】 2 進法と情報量の関係を説明できる 【思考・判断・表現】 デジタル化された情報を主体的かつ適切に取り扱おうとしている 情報量を適切な単位で表現したり変換できる 【主体的に学習に取り組む態度】 表現できる情報量について関心を示し理解し	○	○	○	14
		6 音声の表現 7 静止画と動画の表現 8 情報のデータ量 1 ネットワークの構成 2 情報通信の取り決め 3 Webページとメールの仕組み 4 転送速度とデータ圧縮	仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み 定期考査	【知識・技能】 圧縮率を求めることが出来る 【思考・判断・表現】 圧縮効果を判断することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットワークの構成について調べ改善につなげようとしている	○	○	○	14
1 脅威に対する安全対策 2 情報セキュリティの確保 3 安全のための情報技術 1 問題解決 2 問題の発見 3 問題の明確化 4 解決案の検討 5 解決案の決定		仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み	【知識・技能】 セキュリティポリシーや意義を説明できる 【思考・判断・表現】 アクセス制御などを適切に選択できる 【主体的に学習に取り組む態度】 セキュリティポリシーの必要性を感じている	○	○	○	9	
6 解決案の実施と評価 1 データの収集と整理 2 データ分析と表計算 3 データの可視化 4 データ分析の手法 5 データベースとは 1 モデル化とシミュレーション 2 モデルの分類		仕様教材 教科書・Teamsの ClassNotebook機能への書き込み 定期考査	【知識・技能】 問題解決の評価の方法について理解している 【思考・判断・表現】 分析しやすいように評価結果をまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の結果を振り返り積極的に評価を	○	○	○	3	
							合計	
							70	

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 産業社会と人間

教 科： 総合的な探究の時間 科 目： 産業社会と人間 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1組：長岡・磯貝）（2組：竹市・川島）（3組：常盤・菊田）（4組：池田・藤野）（5組：古谷・千野）（6組：石井・大橋）
使用教科書：（ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：
【知 識 及 び 技 能】基礎的・汎用的能力や社会人基礎力を育む。
【思考力、判断力、表現力等】10年後を見すえた自己の生き方・あり方に関して時間をかけて考えさせる。
【学びに向かう力、人間性等】25歳になった時、社会の中で輝く。

科目 産業社会と人間		の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付ける。		諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。	コミュニケーション能力を身に付け、他生徒と種

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・自己理解…自分自身について改めて考える機会を持ち、自己理解を深める。 ・科目選択…大まかな進路の方向を決定する	・3年後のビジョンとこの1年間の目標を立てさせる。 ・高校卒業者の進路についての基本情報を与える。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○		8
	・進路適性検査…「職業レディネステスト」に取り組み、自分の適職を知る。 ・合格体験記を読む…先輩の体験談を読み、学校生活の過ごし方に目標を持つ。	・ハローワーク監修のテストを活用し、自己の適職を客観視させる。 ・選別した38名の合格体験記の中から3名分を選ばせ、約2年半後の進路活動へ向けてのイメージをつけさせる。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○		6
	定期考査	なし					0
	・マインドマップ…ブレインストーミングの方法の1つを学ぶ。 ・文系理系とは（講演）…進路の概略を理解する。	・自分の頭の中にある事柄を視覚的、客観的に把握することが出来るようにさせる。 ・大まかな進路の方向性である文理選択に役立たせる。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	10
	・KJ法職業探索…KJ法を活用した職業探索で自己理解を深める。 ・職業探索パズル…様々な存在する職業について知る。	・興味関心のある職業をめぐり、分類することを通じ、職業の意外なつながりなどを発見出来るようにさせる。 ・多様な仕事、資格に関するパズルワークに取り組み、面白そうだと思う仕事を見つけさせる。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	10
	定期考査	なし		○	○		0
2 学 期	・1分間スピーチ…夏季休業中の課題について発表を行う。	・オープンキャンパス、職業探索についての課題の発表を通じ、プレゼンテーション能力を高める。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	13
	・ドリームプラン…様々な職業に就いている外部講師を招き、「25歳の自分創り」を具体化する。	・プレゼンテーションを最終目標とし、自分が将来何に挑戦していくのか他者にしっかりと伝えられる力を身に付けさせる。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	11
3 学 期	・SDGs…SDGsについて学び、世界が抱える諸課題について考える。	・SDGs＝持続可能な開発目標について知り、グローバルな視点から諸課題を考えることが出来るようにさせる。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○		3
	・夢ナビワーク…自分の関心に関連する学問や研究の書かれた「講義シート」を活用し、将来を考える契機とする。	・「講義シート」を読みまとめ、発表原稿を作成、プレゼンテーションを行うことで、将来学びたい学問や取り組みたい研究内容等、将来に向けて考えさせる。	・知識、技能…職業探索や自分探しについて知り、それに関わる知識、技能を身に付けている。 ・思考力、判断力、表現力…諸資料をもとに判断することが出来る。また、学習したことを自ら表現することが出来る。 ・他生徒と積極的に協働し、主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	9
						合計	70